

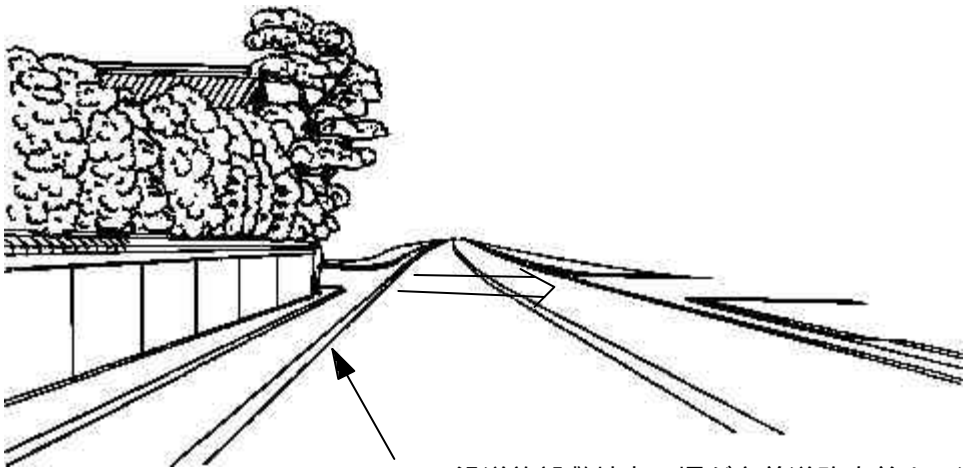
G 沿道施設.....沿道施設（建物、樹木等）に起因する横断歩行者等確認遅れの危険性（その1）  
 ・ 沿道の建物、樹木、看板等が横断箇所付近に存在しているため、横断歩行者（横断歩道）が見えにくく、運転者の横断歩行者に対する確認が遅れる恐れがあるか否か

カテゴリー	判断基準（イメージ図など）
-------	---------------

1：あり  
 (=11.～19.)  
 カテゴリー  
 の生データ

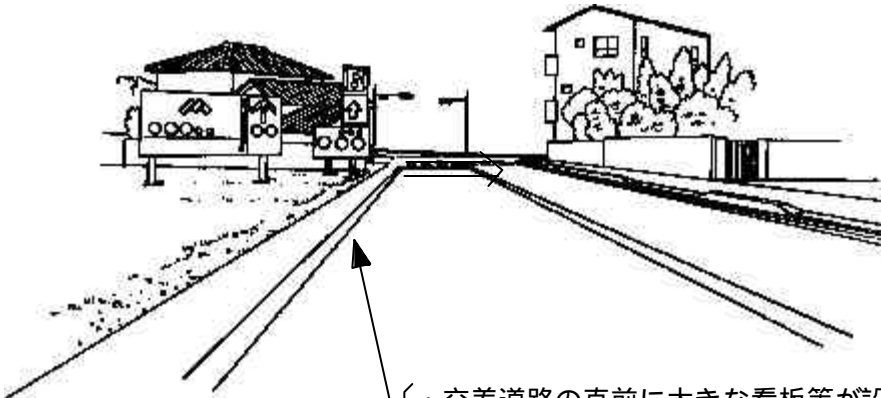
1) イメージ図

11. 沿道敷地内の建物（建物の他、塀、壁、ガレージ、倉庫を含む）や樹木（＝庭木等）が交差道路や車両出入口部の直前付近まで続いているため、歩行者の姿が直前まで見えない。



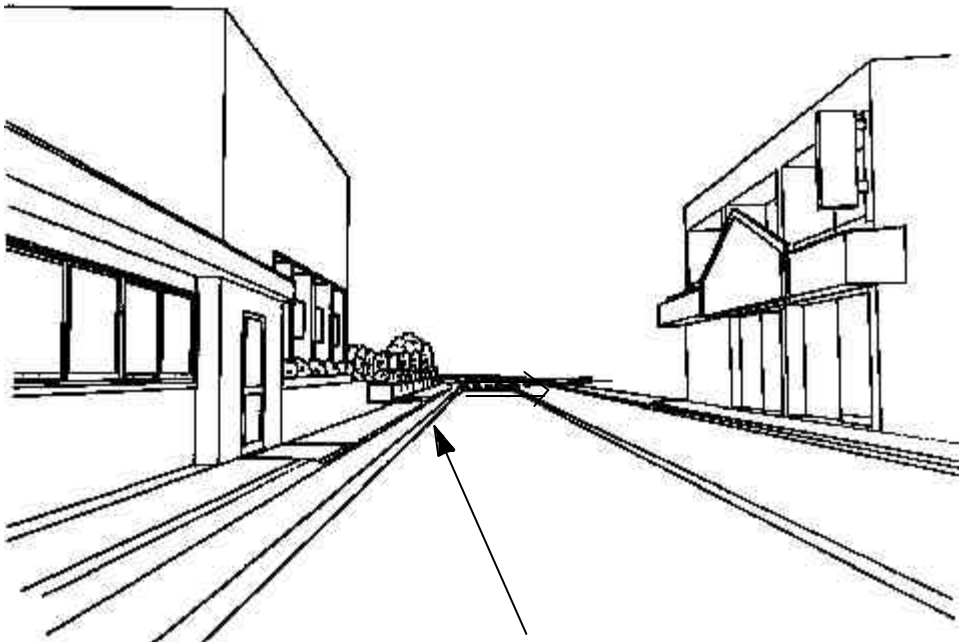
ex. 沿道施設敷地内の塀が交差道路直前まで連続している。

12. 沿道敷地内の看板類が、歩行者の姿をかくしたり、見えにくくしてしまう。



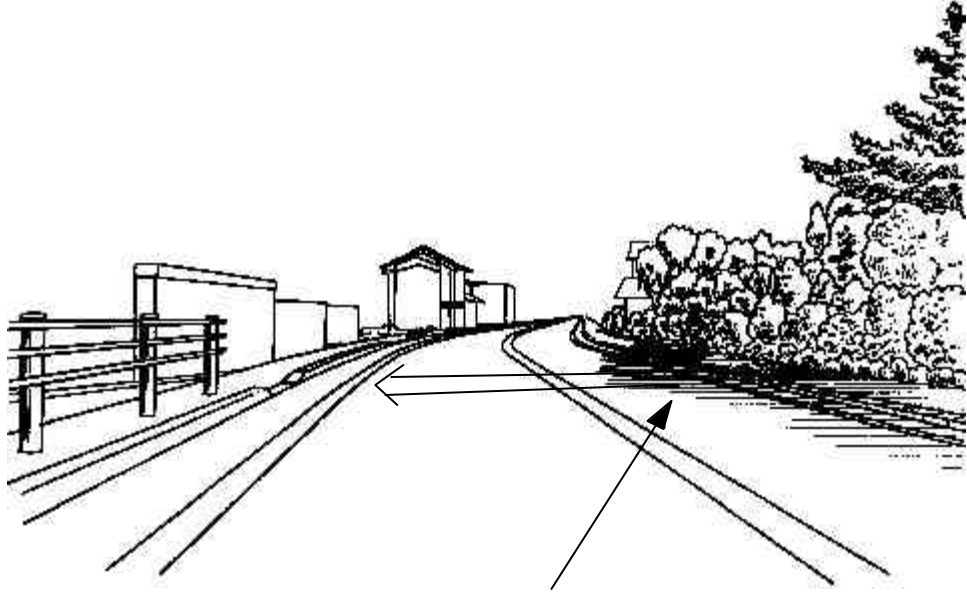
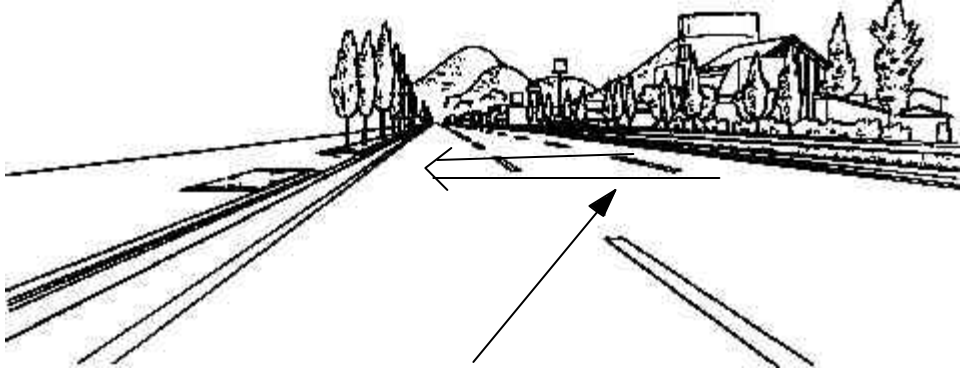
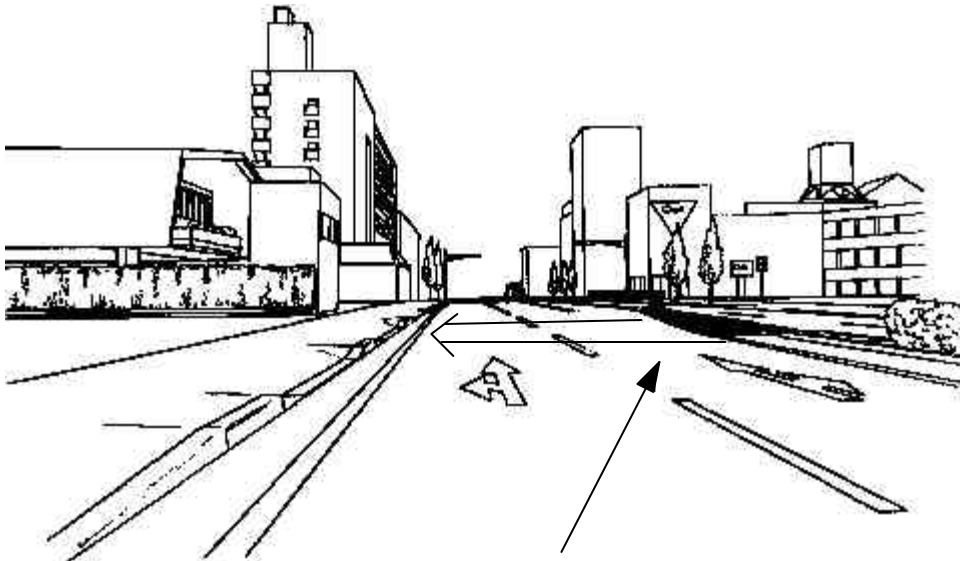
- ・ 交差道路の直前に大きな看板等が設置されていると、歩行者の姿が見えない。
- ・ 小さい看板が複数建ち並ぶと歩行者の姿が溶け込みやすい。

13. 沿道敷地内の植栽樹の低木（が連続）・・・高齡者（背が低い、腰が曲っている）が見えにくい。かくれる。

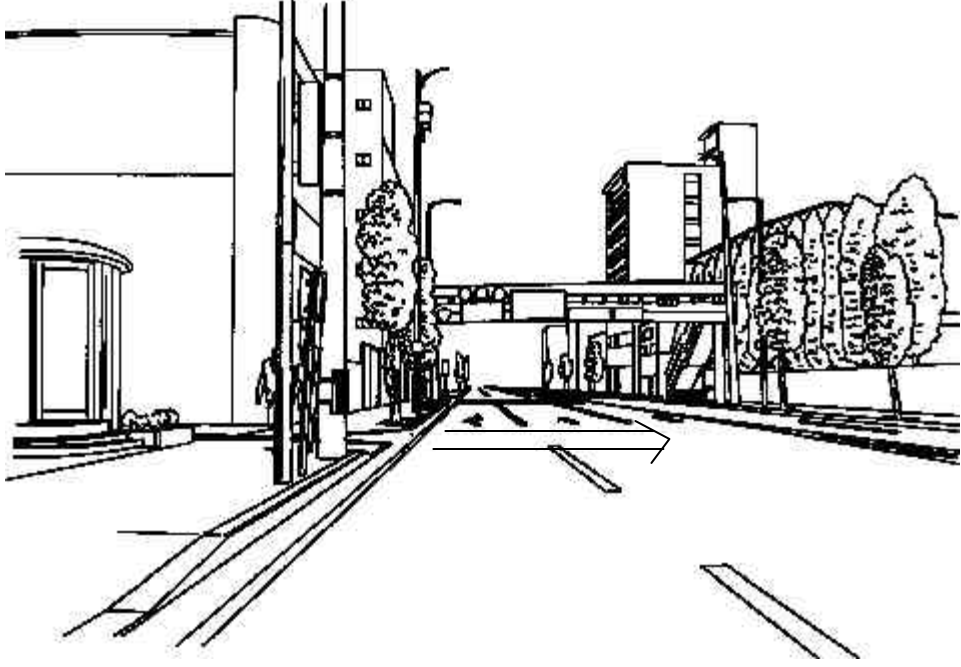


沿道施設敷地内において、高木のある植栽樹に低木が交差道路直前まで連続している。

G 沿道施設.....沿道施設（建物、樹木等）に起因する横断歩行者等確認遅れの危険性  
 (その2)  
 ・ 沿道の建物、樹木、看板等が横断箇所付近に存在しているため、横断歩行者（横断歩道）が見えにくく、運転者の横断歩行者に対する確認が遅れる恐れがあるか否か

カテゴリー	判断基準（イメージ図など）
<p>14.</p> <p>15.</p>	<p>背景に建っている建物の色が黒い</p> <p>背景に沿道樹木（雑木林など、庭木も含む）があると、歩行者の姿が見えにくい。</p>  <p>沿道樹木の影によりうす暗く、背景の中に歩行者の姿が溶け込みやすい。</p>
<p>16.</p>	<p>歩道が広いなど側方余裕は大きいですが、背景に建物、樹木が混在している場合には、歩行者の姿が見えにくい。</p>  <p>背景の建物、樹木が混在する中に、歩行者の姿が溶け込みやすい。</p>
<p>17.</p>	<p>歩道が広いなど側方余裕は大きいですが、背景に建物が林立 . . . . . ビル街、一般家屋の連担を含む。</p>  <p>背景に建物が林立しており、歩行者の姿が背景の中に溶け込みやすい。</p>
<p>18.</p>	<p>歩道が狭いなど側方余裕が小さい上、建物や樹木が林立（連続）しているため、車両の出入口部や交差道路の存在がわかりにくい。</p>

G 沿道施設.....沿道施設（建物、樹木等）に起因する横断歩行者等確認遅れの危険性  
 (その3)  
 ・ 沿道の建物、樹木、看板等が横断箇所付近に存在しているため、横断歩行者（横断歩道）が見えにくく、運転者の横断歩行者に対する確認が遅れる恐れがあるか否か

カテゴリー	判断基準（イメージ図など）
<p>19.</p>	<p>その他                      道路敷地内の占用物件：電柱、標識柱、信号機柱、照明柱、歩道橋脚などが視認性を阻害。                      防護柵（ガードレール・ガードフェンスなど）も含む。</p> 

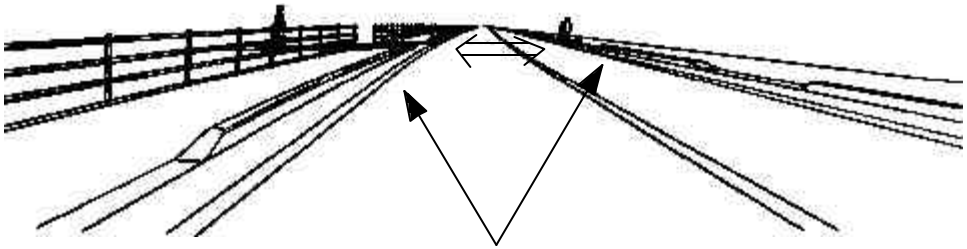
G 沿道施設.....沿道施設（建物、樹木等）に起因する横断歩行者等確認遅れの危険性  
 (その4)  
 ・ 沿道の建物、樹木、看板等が横断箇所付近に存在しているため、横断歩行者（横断歩道）が見えにくく、運転者の横断歩行者に対する確認が遅れる恐れがあるか否か

カテゴリー	判断基準（イメージ図など）
-------	---------------

2：なし  
 (1, ~38,40)  
  
 カテゴリー  
 の生データ

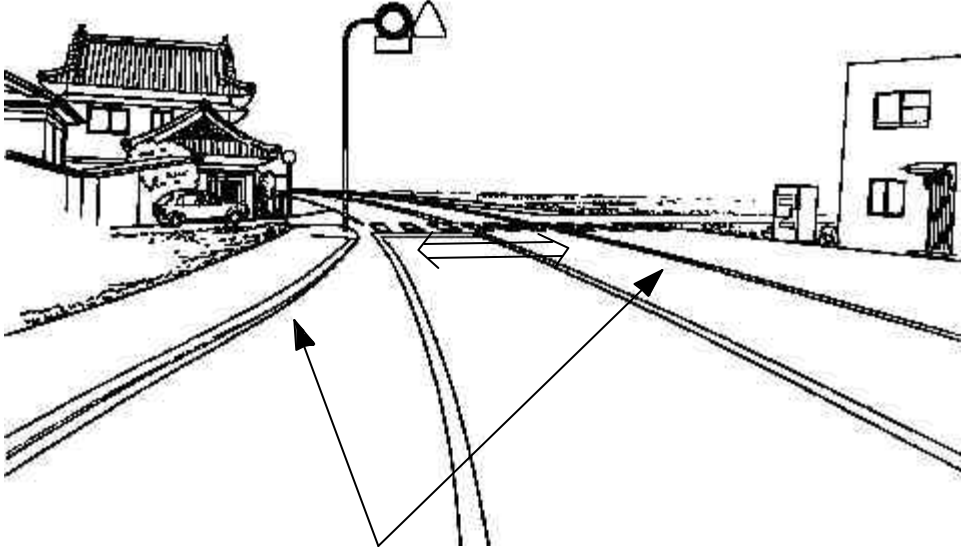
1) イメージ図

31. 沿道に建物、樹木がないため、交差道路の存在を（かなり）前方から知ることができる。



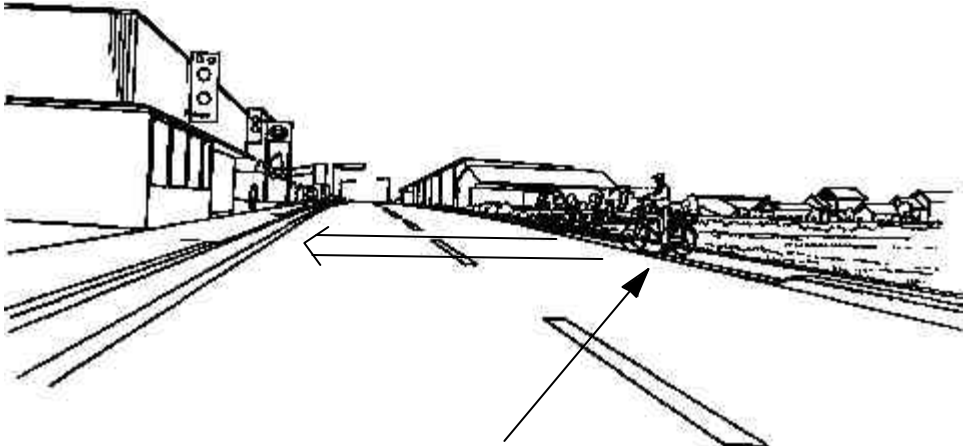
沿道に建物、樹木等がなく、交差道路などをかなり手前から見通せる。

32. 交差道路の手前に建物がないため、交差道路の存在を（かなり）前方から知ることができる。



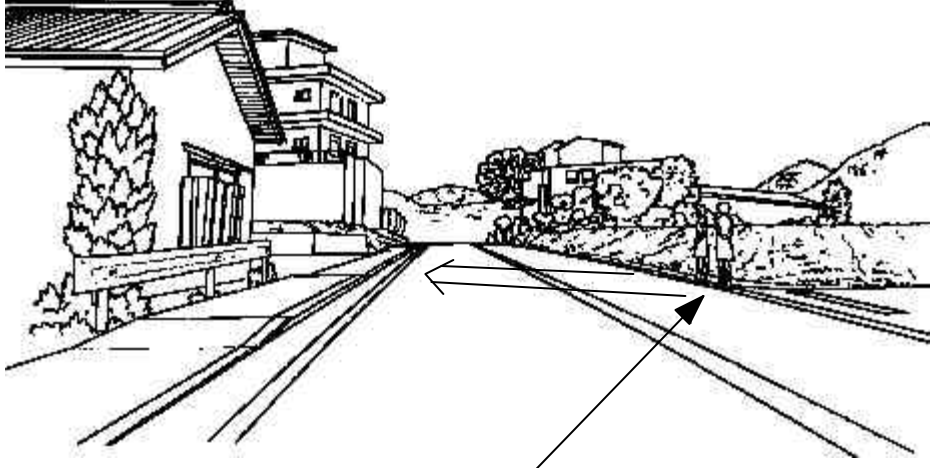
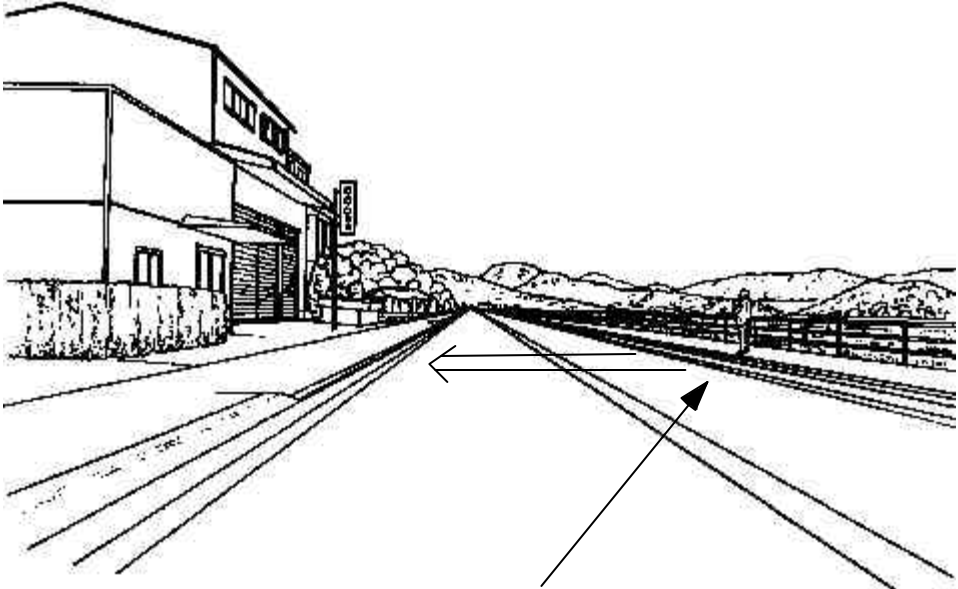
交差道路の手前付近に視認性を妨げるような建物等がなく、交差道路をかなり手前から見通せる。

33. 沿道が田・畑であるため、歩行者の姿がよく見える。

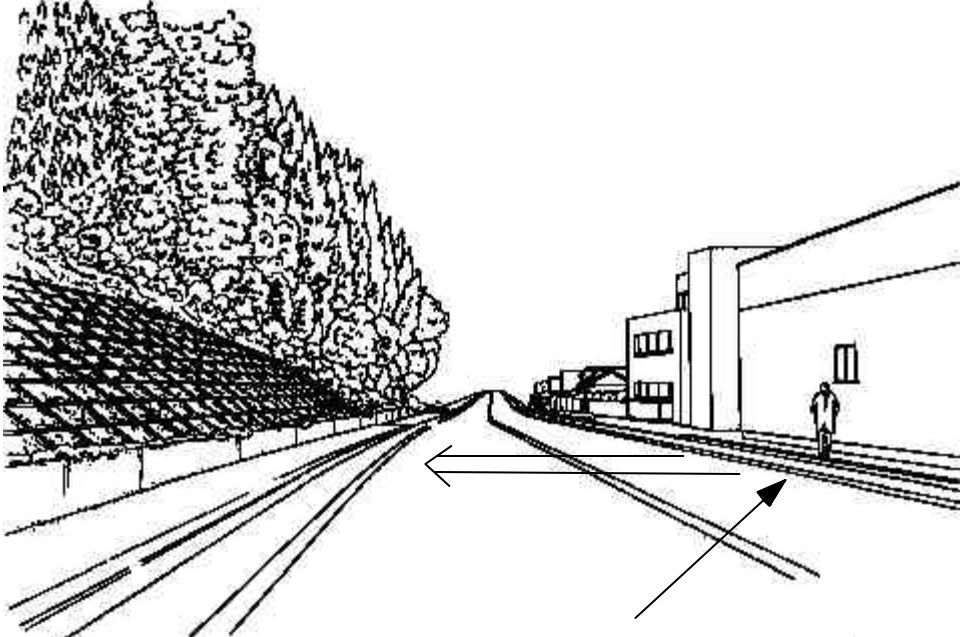
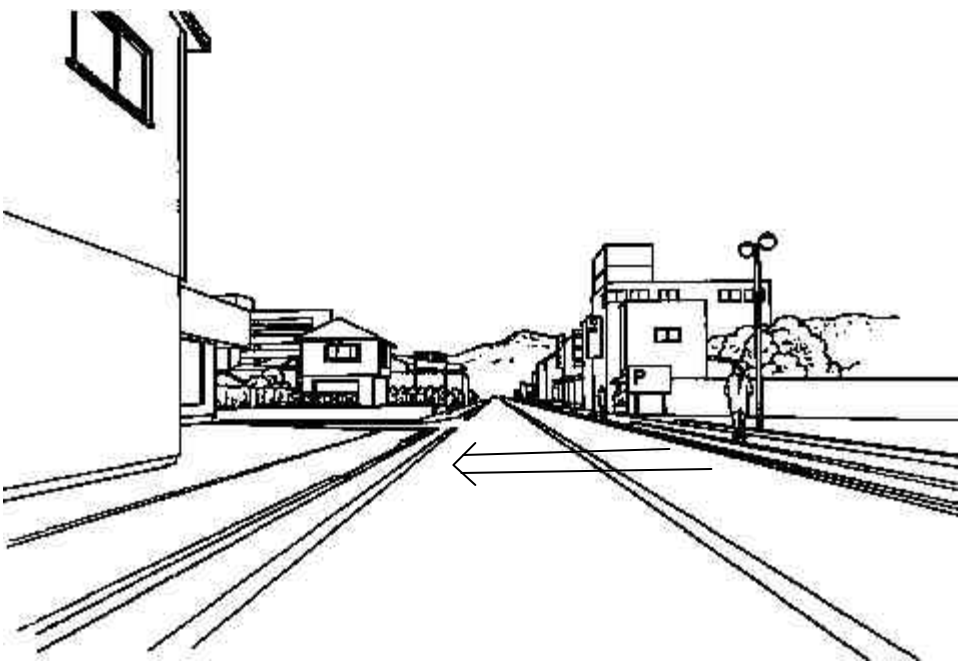


背景が田・畑などであるため、歩行者の姿がよく目立つ。

G 沿道施設.....沿道施設（建物、樹木等）に起因する横断歩行者等確認遅れの危険性  
 (その5)  
 ・ 沿道の建物、樹木、看板等が横断箇所付近に存在しているため、横断歩行者（横断歩道）が見えにくく、運転者の横断歩行者に対する確認が遅れる恐れがあるか否か

カテゴリー	判断基準（イメージ図など）
<p>34.</p> <p>35.</p>	<p>[ 続き ]( 田・畑のアゼや法面 )</p>  <p>背景が田・畑のアゼや法面などであるため、歩行者の姿がよく目立つ。</p> <p>空地、残地（余幅部）などのオープンスペースがある場合は、歩行者の姿が目立ちやすい。                  ( 公園・運動場、池なども含まれる )</p> <p>白色の転落防止柵やガードパイプが連続している場合には、歩行者の姿がよく見える。                  ただし、ガードレールは除く：低いため</p>  <p>同上：転落防止柵が白色の場合には、歩行者の姿が浮き上がって見える。</p>

G 沿道施設.....沿道施設（建物、樹木等）に起因する横断歩行者等確認遅れの危険性  
 (その6)  
 ・ 沿道の建物、樹木、看板等が横断箇所付近に存在しているため、横断歩行者（横断歩道）が見えにくく、運転者の横断歩行者に対する確認が遅れる恐れがあるか否か

カテゴリー	判断基準（イメージ図など）
36.	<p>白壁の建物やコンクリート擁壁（ただし黒ずんでいない）が続いている。</p>  <p>背景に白壁の建物が連続しているため、歩行者の姿がよく目立つ。                  （浮き上がってくっきりと見える）</p>
37.	<p>建物と道路端との間に空間が存在しているため、歩行者が見えやすい。                  （庭、駐車場、用水など）</p> 
38.	<p>その他（上記以外）                  （橋上で歩車道区分されている = 物理的に横断不可能）</p>
40.	<p>多車線部（4車以上）の右側前方は、対向車線（2車以上）が中央を挟んで存在しているため、沿道施設の影響は受けにくい。</p>

K 歩行者横断施設.....横断動線上に横断施設が無いことに起因する横断施設外横断の危険性  
 (その1)  
 ・ 交差道路等からの歩行動線の延長線上に横断施設(横断歩道, 横断歩道橋)がなく、高齢歩行者の横断時に横断施設外横断が頻発する恐れがあるか否か

カテゴリー 判断基準(イメージ図など)

1: あり (=11. ~ 13.)  
 2: なし (=20.)  
 3: 該当なし

判断基準の評価対象

- ・ 交差点・・・流入側：交差道路より手前30mの区間を対象として評価する。  
 ・・・流出側：交差道路より後方30mの区間を対象として評価する。
- ・ 単路部・・・対象外

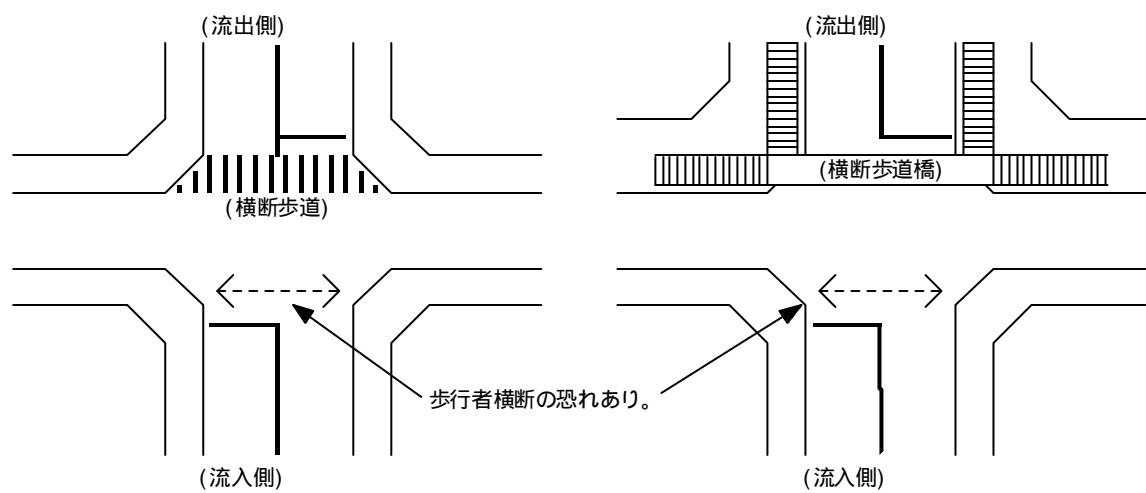
歩行者横断施設 = 横断歩道、横断歩道橋、地下道.....信号、無信号、押しボタン式を問わない。

・ 対象交差点の流入側及び流出側の横断施設設置状況に基づき、下表の組み合わせでカテゴリー生データを判断する。

		【流出側】			
		o1;横断歩道あり	o2;横断歩道橋あり	o3;地下歩道あり	o4;横断施設なし
【流入側】	i1;横断歩道あり	20;流入・流出側の両方に横断施設がある			12;流出側に横断施設がない
	i2;横断歩道橋あり				
	i3;地下歩道あり				
	i4;横断施設なし	11;流入側に横断施設がない	13;流入・流出側の両方に横断施設がない		

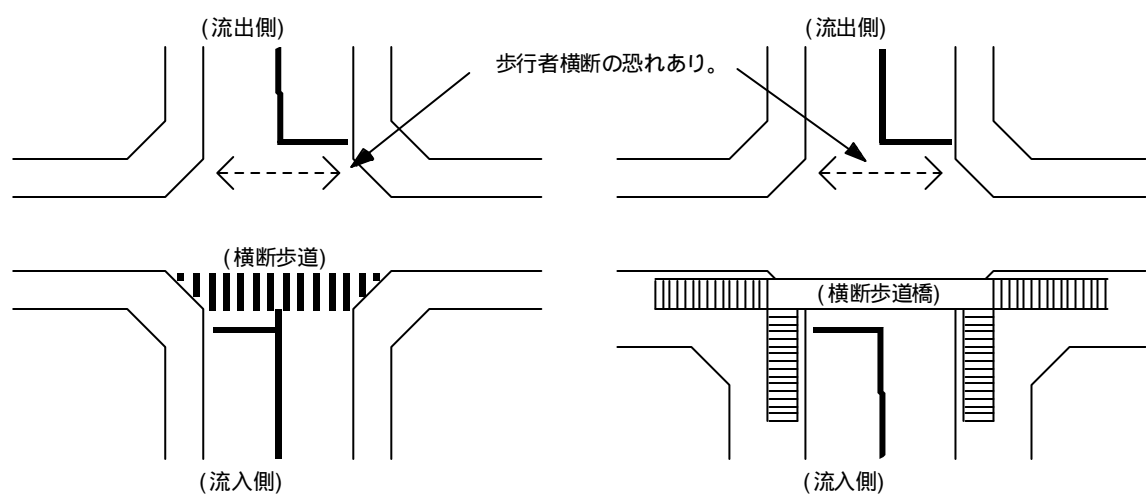
11. 流入側に横断施設がない

流出側のみに歩行者横断施設が設置されており、流入側での横断施設外横断が行われる恐れがある。

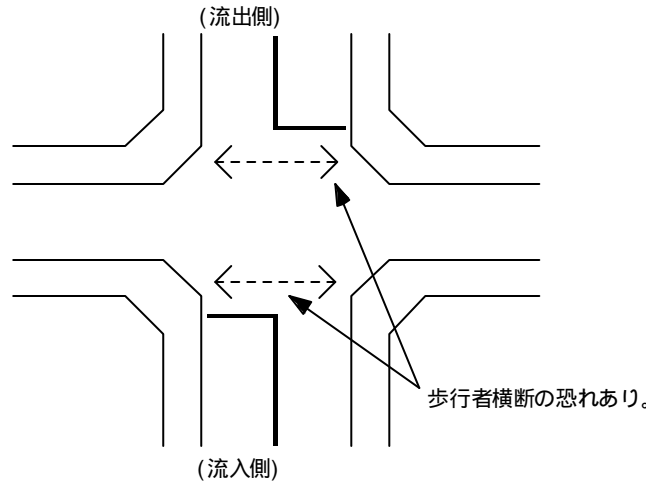
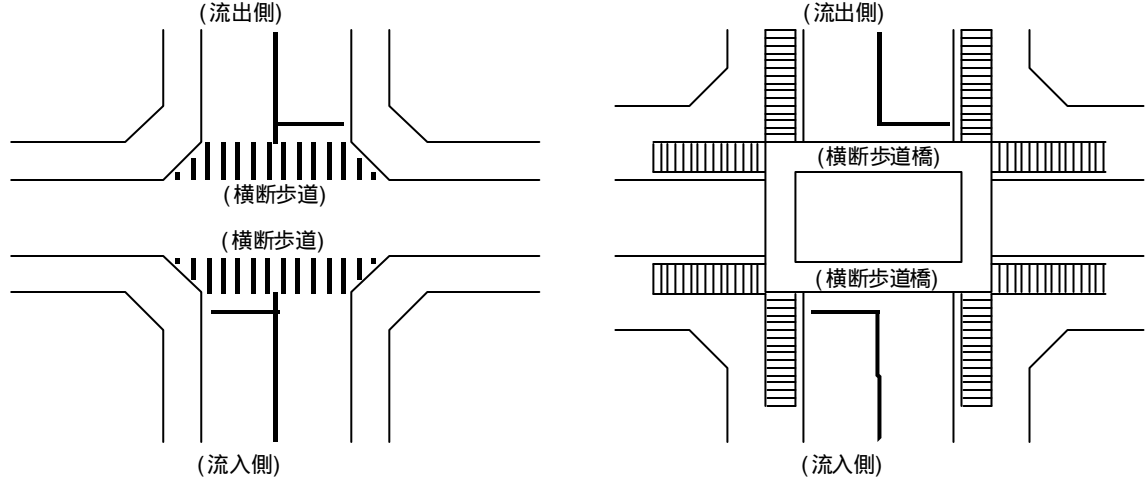


12. 流出側に横断施設がない

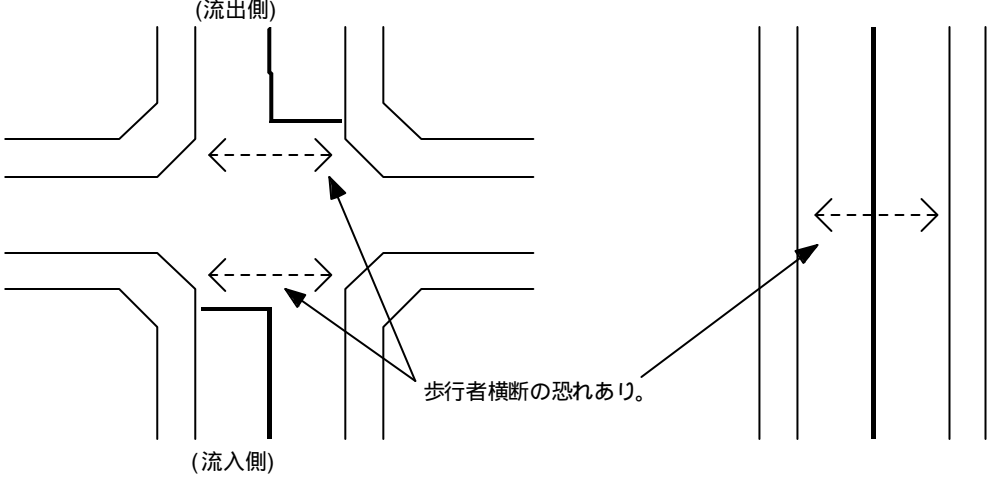
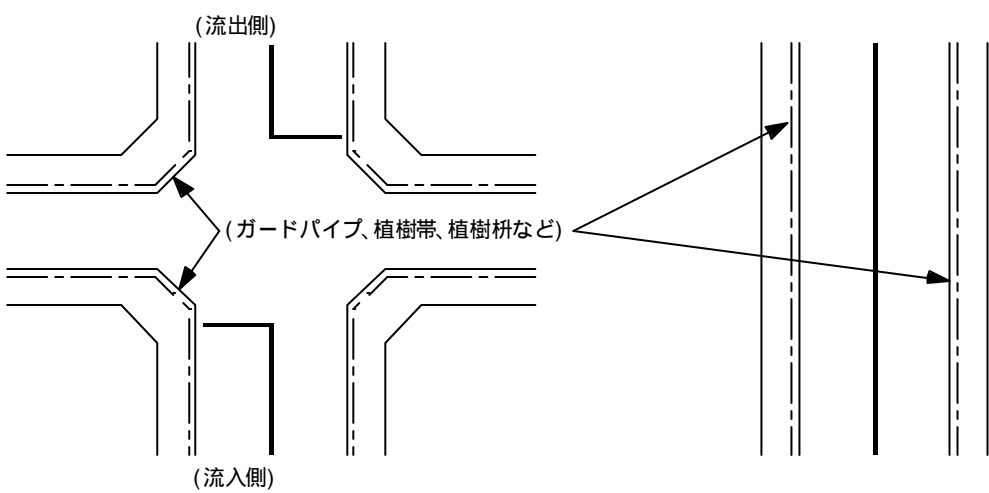
流入側のみに歩行者横断施設が設置されており、流出側での横断施設外横断が行われる恐れがある。

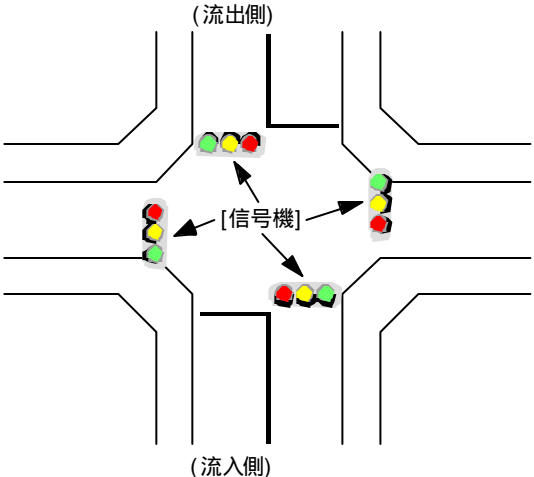
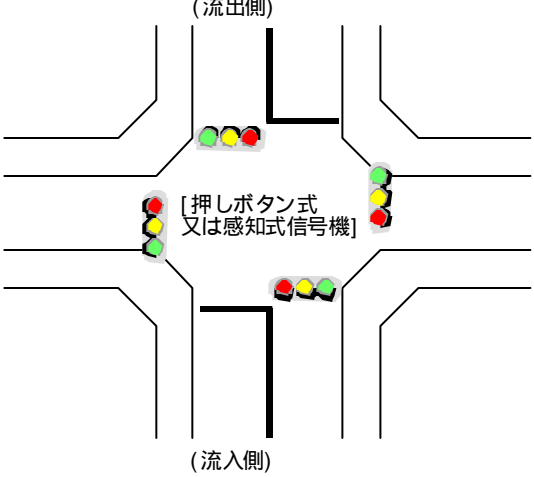
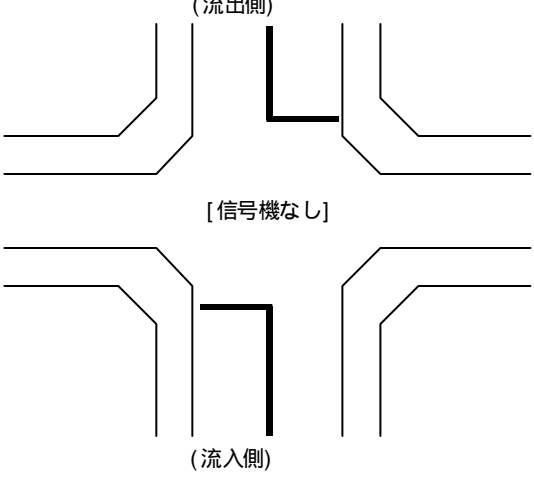


K 歩行者横断施設.....横断動線上に横断施設が無いことに起因する横断施設外横断の危険性  
 (その2)  
 ・ 交差道路等からの歩行動線の延長線上に横断施設(横断歩道, 横断歩道橋)がなく、高齢歩行者の横断時に横断施設外横断が頻発する恐れがあるか否か

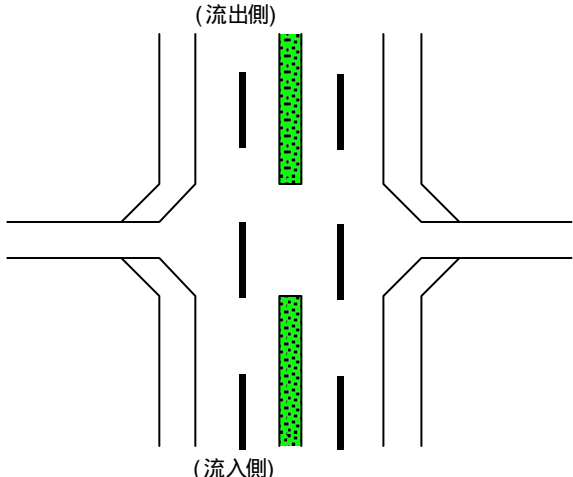
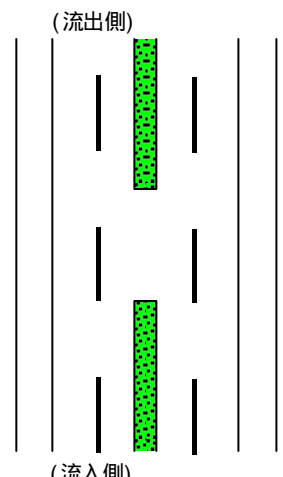
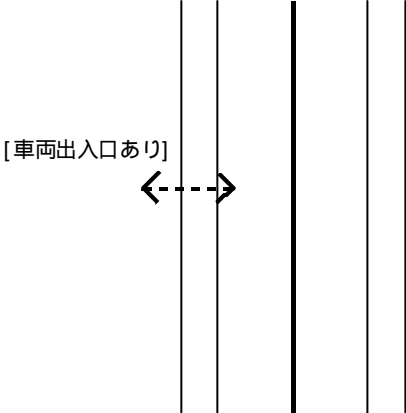
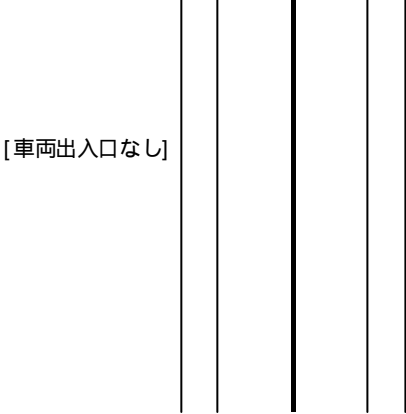
カテゴリー	判断基準(イメージ図など)
13. 流入・流出側の両方に横断施設がない	流入・流出側いずれにも歩行者横断施設が設置されておらず、流入出両側での横断施設外横断が行われる恐れがある。 
20. 流入・流出側の両方に横断施設がある	流入・流出側いずれにも歩行者横断施設が設置されていて、流入出両側での横断施設外横断が行われる恐れが少ない。 
3. 該当なし	単路部(交差道路がないのに、歩行者横断施設が設置されている場合も含む)



<p>M 乱横断防止施設.....乱横断を防止する施設がないことに起因する横断施設外横断の危険性</p> <p>・ 乱横断防止柵（連続した植樹帯も含む）等が設置されていないため、横断施設外横断が頻発する恐れがあるか否かか</p>	
カテゴリー	判断基準（イメージ図など）
<p>1：危険あり (=横断防止柵なし)</p>	<p>判定基準の評価対象</p> <p>交差点・・・対象断面（交差点中心付近）の前後、30m区間を対象として評価</p> <p>単路部・・・対象断面の手前30mの区間を対象として評価</p> <p>横断施設外横断の危険性あり = 乱横断某施設が設置されていない</p> 
<p>2：危険なし (=横断防止柵あり)</p>	<p>横断施設外横断の危険性なし = (横断防止柵あり) の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防護柵（ガードパイプ）</li> <li>・ 連続した植栽帯（歩道・中央帯）</li> <li>・ かさ上げされた植栽柵（レンガ積等）が連続</li> <li>・ 乱横断防止を呼びかける看板など</li> <li>・ 橋梁（歩車区分あり）</li> </ul> <p>がいずれか片側（進行方向の右側 or 左側）にあれば、危険なしと判断する。</p> 

a 道路形状 (その1) ・ 交差点か単路部か ・ 信号の有無とその種類	
カテゴリー	判断基準 (イメージ図など)
1	<p>通常の信号機が設置された交差点</p> 
2	<p>押しボタン式あるいは感知式信号機が設置された交差点</p> 
3	<p>無信号交差点部</p> 

a 道路形状  
 (その2)  
 ・ 交差点か単路部か ・ 信号の有無とその種類

カテゴリー	判断基準 (イメージ図など)
4	<p>接続道路(車両通行可)のある中央帯開口部</p> 
5	<p>接続道路(車両通行可)のない中央帯開口部</p> 
6	<p>上記以外の単路部(車両出入口あり)</p> 
7	<p>上記以外の単路部(車両出入口なし)</p> 

点検区分		点検項目	点検内容	点検結果のカテゴリー集約方法
1. 視認性	b. 道路植栽により視認性が阻害されている	C 歩道の植栽 歩道の植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性 [ C C1に集約 ]	・ 歩道に設置されている植栽が横断歩行者の姿を隠すことになるため、運転者の横断歩行者に対する確認（或いは横断歩行者の走行車両に対する確認）が遅れる恐れがあるか否か	1：あり(=11.～17.) 2：なし(=21.～28.) 3：該当なし (歩道に植栽がない) <b>現地点検の判断基準参照</b>
		D 中央分離帯の植栽 中央分離帯の植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性 [ D D1, D2に集約 ]	・ 中央分離帯に設置されている植栽が横断歩行者の姿を隠すことになるため、運転者の横断歩行者に対する確認（或いは横断歩行者の走行車両に対する確認）が遅れる恐れがあるか否か	1：あり(=11.～13.) 2：なし(=21.～24.) 3：該当なし(中央分離帯の植樹帯が連続しており、物理的に横断が困難) 4：該当なし(中央分離帯に植栽がない) 5：該当なし(中央分離帯なし=2車線) <b>現地点検の判断基準参照</b>
		C 道路(歩道或いは中央分離帯)の植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性 [ C2 ]	・ 道路(歩道或いは中央分離帯)に設置されている植栽が横断歩行者の姿を隠すことになるため、運転者の横断歩行者に対する確認(或いは横断歩行者の走行車両に対する確認)が遅れる恐れがあるか否か (=C及びDに関する点検結果から総合的に判断して、右欄のカテゴリーを選択)	・ C, Dのいずれかが「1:あり」)ならば、『1:あり』と判断される ・ C, Dがともに「2:なし」或いはC, Dのいずれかが「2:なし」、「3~5:該当なし」)ならば、『2:なし』と判断される ・ C, Dがともに「3~5:該当なし」)ならば、『3:該当なし』と判断される
	d. 横断歩道(横断歩行者)に対する視認性が悪い	G 沿道施設 沿道施設(建物、樹木等)に起因する横断者等確認遅れの危険性 [ G G1に集約 ]	・ 沿道の建物、樹木、看板等が横断箇所付近に存在しているため、横断歩行者(横断歩道)が見えにくく、運転者の横断歩行者に対する確認が遅れる恐れがあるか否か  g1(左側) - あり(=11.～19.) - なし(=31.～38.40.) g2(右側) - あり(=11.～19.) - なし(=31.～38.40.)	1：両側であり 2：左側のみあり 3：右側のみあり 4：なし  <b>現地点検の判断基準参照</b>
2. 横断施設	g. 横断動線に沿った位置に横断施設がない	K 歩行者横断施設 横断動線上に横断施設が無いことに起因する横断施設外横断の危険性 [ K K1に集約 ]	・ 交差道路等からの歩行動線の延長線上に横断施設(横断歩道, 横断歩道橋)がなく、高齢歩行者の横断時に横断施設外横断が頻発する恐れがあるか否か	1：あり(=11.～13.) 2：なし(=20.) 3：該当なし(横断の恐れがない) <b>現地点検の判断基準参照</b>
	i. 乱横断を防止する施設がない	M 乱横断防止施設 乱横断を防止する施設がないことに起因する横断施設外横断の危険性 [ = M ]	・ 乱横断防止柵(連続した植樹帯も含む)等が設置されていないため、横断施設外横断が頻発する恐れがあるか否か	1：あり 2：なし  <b>現地点検の判断基準参照</b>

点検区分		点検項目	点検内容	点検結果のカテゴリ集約方法
3 . 道路環境	k . 最近重大事故が発生した	O 非高齢者の横断歩行中事故 最近における非高齢者の横断歩行中事故の発生の有無 [ = O ]	・ この3 ~ 4年の間に、非高齢者の横断歩行中事故が発生したか否か (モデル構築にはH7 ~ H10を使用)	1 : あり 2 : なし
4 . 箇所の道路状況	a 道路形状 [ a a a a 1に集約 ]	・ 交差点か単路部か ・ 信号の有無、種類		1 : 信号交差点部 ( 1 ~ 2 ) 2 : 無信号交差点部 ( 3 ~ 4 ) 3 : 単路部 ( 5 ~ 7 ) 注) 交差点部とは、交差点及びその付近 ( 停止線より30m以内) をさす <b>現地点検の判断基準参照</b>
	h 沿道状況 [ h h h h 1に集約 ]	・ 沿道特性		1 : D I D、その他市街地 ( 1 ~ 2 ) 2 : 平地部 ( 3 ) 3 : 山地部 ( 4 )
5 . 箇所の交通状況	k 12時間混雑度(平日) [ k k k k 1に集約 ]			1 : 1.0未満 ( 1 ~ 2 ) 2 : 1.5未満 ( 3 ) 3 : 1.5以上 ( 4 ~ 5 )
	m 指定最高速度 [ = m m ]			1 : 40km/h 2 : 50km/h 3 : 60km/h

注1) 点検項目欄の [ 1 ] は、現地点検チェックシート「カテゴリ番号」の集約対象であることを示している。

注2) 点検項目の判断基準 ( C、D、G、K、M、a ) は [ 資料 - 1 ] 参照。

注3) 点検項目 ( h、k、m ) は、最新の「道路交通センサス」による。

資料 - 3 現地検結果の 카테고리 集約総括表

現地検用シートの説明変数名			
C 歩道の植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性	C 歩道の植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性 11.~17. (あり) 21.~28. (なし) 3.該当なし(歩道に植栽がない)	C1 同左 1.あり 2.なし 3.該当なし(歩道に植栽がない)	
D 中央分離帯の植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性	D 中央分離帯の植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性 11.~13. (あり) 21.~24. (なし) 3.該当なし(中央分離帯の植樹帯が連続) 4.該当なし(中央分離帯に植栽がない) 5.該当なし(中央分離帯なし=2車線)	D1 同左 1.あり 2.なし 3.該当なし(中央分離帯の植樹帯が連続) 4.該当なし(中央分離帯に植栽がない) 5.該当なし(中央分離帯なし=2車線)	D2 同左 1.あり 2.なし 3.該当なし(中央分離帯の植樹帯が連続、中央分離帯に植栽がない、中央分離帯なし)
C 道路(歩道、中央分離帯)植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性	C2 道路(歩道、中央分離帯)植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性 C1 歩道の植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性	1.あり 2.なし 3.該当なし(歩道に植栽がない)	D2 中央分離帯の植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性 1.あり 2.なし 3.該当なし(中央分離帯に植栽がない他)
G 沿道施設(建物、樹木等)に起因する横断者等確認遅れの危険性	G 沿道施設(建物、樹木等)に起因する横断者等確認遅れの危険性 g1 左側の危険性	11.~19. (あり) 31.~38.40 (なし)	g2 右側の危険性 11.~19. (あり) 31.~38.40 (なし) 1.両側であり 2.左側のみあり 3.右側のみあり 4.なし
K 横断動線上に横断施設がないことに起因する横断施設外横断の危険性	K 横断動線上に横断施設がないことに起因する横断施設外横断の危険性 11.~13. (あり) 20. (なし) 3.該当なし(横断の恐れがない)	K1 同左 1.あり 2.なし 3.該当なし(横断の恐れがない)	
M 乱横断を防止する施設がないことに起因する横断施設外横断の危険性	M 乱横断を防止する施設がないことに起因する横断施設外横断の危険性 1.あり 2.なし		
O 最近における非高齢者の横断歩行中事故の発生の有無	O 最近における非高齢者の横断歩行中事故の発生の有無 1.あり 2.なし		
a 道路形状	aa 道路形状 1.信号交差点部 2.押しボタン式信号或いは感知式信号のある交差点部 3.無信号交差点部 4.接続道路(車両通行可)のある中央帯開口部 5.接続道路(車両通行可)のない中央帯開口部 6.上記以外の単路部(車両出入口あり) 7.上記以外の単路部(車両出入口なし)	aa1 同左 1.信号交差点部(押しボタン式、感知式を含む) 2.無信号交差点部 3.単路部	
h 沿道状況	hh 沿道状況 1.D/D 2.その他市街地 3.平地部 4.山地部	hh1 同左 1.D/D、その他市街地 2.平地部 3.山地部	
k 12時間混雑度(平日)	kk 12時間混雑度 1.0.5未満 2.1.0未満 3.1.5未満 4.2.0未満 5.2.0以上	kk1 同左 1.1.0未満 2.1.5未満 3.1.5以上	
m 指定最高速度	mm 指定最高速度 1.40km/h 2.50km/h 3.60km/h		
注)		:モデル式に入力する項目 (= 説明変数) とカテゴリ-NO.	